

スマート農業実証プロジェクトの現地実演会を実施しました

施設工学研究領域 施設保全グループ上級研究員 嶺田拓也

当研究部門が参画する「スマート農業実証プロジェクト・多面的機能向上スマート水管理実証コンソーシアム」による「スマート水管理システム現地実演会」が、7月22日(金)に山形県河北町畑中地区で開催されました。

本プロジェクトで実証試験を行っている ICT を用いた圃場の水管理に関する遠隔監視・遠隔操作技術のうち、自動分水ゲートと複合セキを組み合わせた複数圃場への一括配水を実現する集約型水管理システムと、きめ細やかかつ省力的な水管理が可能な個別型 ICT 水管理機器(WATARAS)について、解説と操作の実演が行われました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、河北町町長をはじめ、東北農政局、山形県農林水産部や各支庁からスマート農業担当者や農業改良普及員など約80名の参加を得ました。スマート水管理システムを実際に体験しながら、導入している生産農家との活発な意見効果も見られました。現地実演会の様子は、翌日の日本農業新聞と山形新聞の朝刊に紹介されるなど、スマート水管理システムの理解と普及に向けてよい機会となりました。



集約型水管理を実現する複合セキについて説明する藤山宗研究員(水利制御グループ)



個別型 ICT 水管理機器(WATARAS)の操作を実演する新村麻実研究員 (農地整備グループ)